

教育センターだより

本年度の香川県教育センタースローガン

「10年後保証」の教育を
バックアップする組織・人となれ！



この子供たちの「10年後を保証する教育」に、私たちは全力を尽くしていかなければなりません。各学校や園が、それぞれに10年後を保証する教育を展開し、連携を強化していくと、この子供たちの28歳の姿を保証する教育を行うことができます。世の中がどんなに変化しようとも、豊かに、たくましく、そして幸せに生き抜く力を育む学校や教職員を、香川県教育センターは、教育研究、教職員研修、教育相談、カリキュラムセンターの4つの事業を通して、全力でバックアップいたします。

平成31年4月 香川県教育センター 所長 真鍋 佳樹

香川県教育センターの調査研究をご活用ください。

平成31年度 調査研究事業 【計画】

今年度、教育センターが取り組む研究テーマです。



調査研究1 個別最適化された新たな学びに関する調査研究

児童生徒一人一人の学びに関する個別の学習状況を把握するとともに、個に応じた効果的な指導について研究します。また、テーマに関する先進的な実践情報を収集して、効果的な活用について提案します。



調査研究2 情報教育に関する調査研究

多様な学びを推進するためのICTの効果的な活用及び評価、業務改善におけるWebサイトの活用及びオンライン研修等の充実、小学校におけるプログラミング教育等について調査研究し、具体的な活用方法について報告します。



調査研究3 全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の詳細な結果分析と活用ツールによって、学校での改善に向けた取組を支援するとともに、学力向上モデル校事業と協働して、先進的な研究推進や授業づくりについて広く普及します。

平成31年度（2019年度）の研究発表会は、2020年2月14日（金）です。

平成30年度 研究発表会 【報告】

平成31年2月15日（金）に行いました。

発表1

情報教育に関する調査研究 ～どの学校でもできるネットワークを活用した授業実践～*

各学校によってICTの整備状況に差があっても、ネットワークを活用することで「ICTを活用した授業づくり」が実践できるよう、様々な手段や手法を、これまでの調査研究を通して得た知見をもとに、紹介しました。



発表3

アクティブ・ラーニングの視点から実現する学びの質の向上に関する調査研究 ～学びのプロセスの工夫改善を通して～（2年次）*

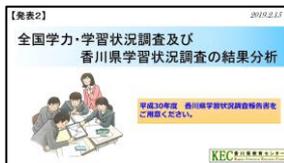
新しい時代に必要となる資質・能力と主体的な学習者の育成のために、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点からの授業改善を推進し、一人一人の学びを質的に向上させることをねらいとして研究しました。その成果について「アクティブ・ラーニング研究推進モデル校」などの先進的な取組の実践事例等を報告書にまとめ、効果的な方策を校種ごとに提案しました。



発表2

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析*

学習状況調査の結果分析をもとに成果や課題など、香川県の現状を報告し、授業改善の方向性や学校組織運営の改善策について提案しました。



* 報告書、資料等は、香川県教育センターWebサイトからダウンロードできます。



講演

これから求められる学校教育の在り方 ～学習指導要領改訂を踏まえて～ 国立教育政策研究所 教育課程調査官 上野 耕史 先生

新学習指導要領の全面実施に向け、小学校・中学校・高等学校等において取り組むべき授業改善の工夫やカリキュラムマネジメントの実現、効果的な評価の在り方など、現場の先生方が直面する課題を解決する考え方や手立てについて、具体的な事例を交えながら解説していただきました。



子ども・保護者支援に悩んだら、教育センターへご相談ください！

教育センターの相談窓口

教育センターでは、子どもや保護者、教職員からの学校教育、家庭教育に関する悩みの相談に応じています。以下の相談窓口をご活用ください。保護者にも、ぜひご紹介ください。

電話相談

子ども電話相談

087-813-3119 (子ども専用)

* 相談時間 9:00~21:00(通年)

子育て電話相談

087-813-2040

* 相談時間 9:00~21:00(通年)

24時間いじめ 電話相談 (24時間子供SOSダイヤル)

087-813-1620

0120-0-78310

* 相談時間 24時間(通年)

子どものネットトラブル相談

087-813-3850

* 相談時間 月~金曜日(祝日・年末年始を除く)
9:00~17:00



来所相談

087-813-0945(予約受付)

* 相談時間

月~金曜日(祝日・年末年始を除く)

9:00~17:00

第2、4土曜日(祝日・年末年始を除く)

13:00~17:00

メール相談

kesoudan@kagawa-edu.jp



FAX相談

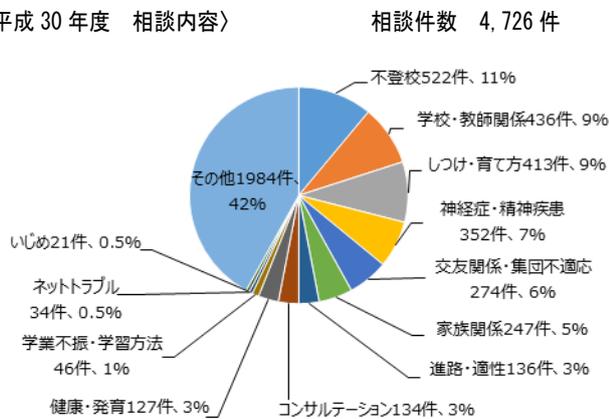
087-881-3272

コンサルテーション

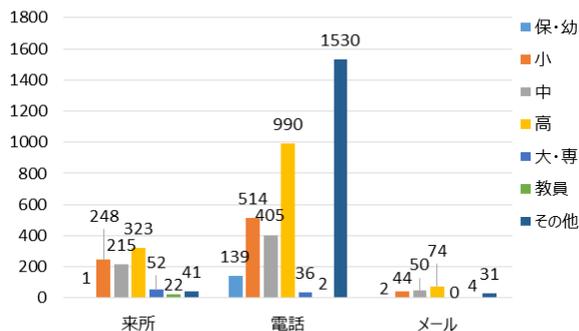
087-813-0945 (教育相談課)

平成30年度相談概況

〈平成30年度 相談内容〉



〈平成30年度 相談対象者の校種〉



1 教育センターへの相談は、5年連続増加

- 相談件数は4,726件で、昨年度より14件増加しました。相談内容は、不登校が最も多く、そのうち約6割は来所相談での相談でした。
- 相談対象者の校種は、高校が最も多く、1,387件ありました。

2 教職員に対するコンサルテーションが134件

- 件数は昨年度の約1.4倍となりました。
- 管理職や学級担任、養護教諭等へ、教育センターでの相談傾向をもとに、保護者や子どもへのかかわり方について提案しています。また、問題の早期発見・早期対応に向けて、学校生活に関するアンケートの効果的な活用方法などについての助言も行いました。
- 対応が難しい問題については、電話での相談だけでなく、校内ケース会議に参加して、児童生徒を見立て、今後の校内支援体制づくりなどについて協議しました。

3 ネットトラブルに関する相談の件数が増加

- ネットトラブルに関する相談件数は34件で、昨年度の1.7倍となりました。
- SNS上での誹謗中傷などの書き込みにどのように対応していけばよいかや、ゲームやネットに熱中し過ぎる子どもにどう対応すればよいかなどの相談が寄せられました。

今年度の教育センターの事業をご紹介します。

平成31年度 公開講演

関係研修の受講の有無にかかわらず聴講できます。
詳しくは『研修講座案内』又は Web サイトをご覧ください。



期 日	演 題	講 師 (敬称略)
5/10(金)	災 害 共 済 給 付 事 務	ス ポ ー ツ 振 興 セ ン タ ー
5/17(金)	主体的・対話的で深い学びの実現に向けてー思考ツールの効果的な活用を通してー	鳴門教育大学大学院 准教授 泰山 裕
6/ 6(木)	子 供 た ち の ネ ッ ト 利 用	久里浜医療センター 心理療法士 北湯口 孝
7/22(月)	国語の授業づくりー学力結果を生かした主体的・対話的で深い学びを指導する国語科授業の実践ー	元文部科学省教科調査官 井上 一郎
7/23(火)	これからの時代の地域協働・キャリア教育ー社会が変わる、学びが変わるー	NPO法人スクール・アドバイザー・ネットワーク理事長 生重 幸恵
7/25(木)	働き方改革と学校管理職のリーダーシップ	愛媛大学大学院 教授 露口 健司
7/30(火)	発達障害のある子どもへの支援についてー社会性を育む支援の在り方ー	鳴門教育大学大学院 特命教授 井上とも子
8/ 1(木)	学 校 組 織 マ ネ ジ メ ン ト	高崎市教育委員会 教育長 飯野 眞幸
8/ 6(火)	就学前における特別支援教育コーディネーター	香川大学教育学部 准教授 松井 剛太
8/ 8(木)	キ ャ リ ア 教 育 の 在 り 方	国立教育政策研究所 総括研究官 長田 徹
8/19(月)	“教師の4ちから”を高めて信頼される教師を目指そう	文 教 大 学 教 授 会沢 信彦
11/14(木)	特 別 支 援 教 育 (発 達 障 害)	香 川 大 学 教 授 坂井 聡
12/25(水)	社会に開かれた教育課程とカリキュラム・マネジメント	甲 南 女 子 大 学 教 授 村川 雅弘
1/ 6(月)	食 育 推 進 の 現 状 と 課 題	(株)オフィス弁当の日 代表取締役 竹下 和男

カリキュラムセンター事業

◆ 研修サポート

指導主事を派遣し、各学校の研究テーマや課題に沿った指導や助言、研修支援を行います。
(平成30年度実績：527件)

◆ 研究相談

教育実践上の諸問題等について、来所や電話、メール等により教職員からの相談に応じます。
(平成30年度実績：383件)

◆ 教育ライブラリー

[所蔵資料] (平成30年度末現在)

- ・教育図書 11,232 冊
- ・研究紀要・論文等 16,340 点
- ・教育雑誌 29 種類
- ・視聴覚資料、各社の教科書 他

[閲覧・貸出等]

- ・開室時間 9:00～17:00 (月～金)
9:00～16:00 (土)
(ただし、土曜日は原則として 13:00～14:00 閉室)
- ・貸出冊数 1 回につき 5 冊まで
- ・貸出期間 15 日間

◆ Webサイト

学習指導案や調査研究報告書など、教育活動に役立つ資料を収集・作成し、情報提供します。
また、教職員研修を効率的・効果的なものにするため、オンライン研修事業を推進します。

◆ 学校教育力向上支援事業 (さぬき学びの支援隊)

退職教職員を小・中学校に派遣し、教職員の資質・能力の向上に向けた支援を行います。

(平成30年度実績：

支援隊登録者数 290人
派遣校数 114校
派遣時間総数 8,798時間)

◆ 指導助言者の派遣

学校等に指導助言者を派遣し、研修活動等でのアドバイスを行う。

- ・スクールアドバイザー (栄養指導、保健指導、学校事務等)
- ・幼児教育スーパーバイザー

◆ 施設開放

県内の教職員団体やグループに対して、その自主的研修や調査研究の場として、研修室を無料で貸し出します。

- ・貸出時間 9:00～16:30 (月～土)
- (平成30年度実績：139団体 4,432人)

◆ インターネットによる学校支援

インターネットで各学校と教育センターとを結ぶ香川県情報教育支援サービスを通じ、様々な教育情報や各種サービスを提供します。